

たまげた

井上ひさし
没後10年

- ・吉里吉里忌2020
- ・遅筆堂文庫企画展
- ・井上ひさし展 図録紹介

…etc.



vol.005

March 2021

NEW
堂則入り
トートバッグ
1,500円

NEW
便箋
各 300円

絵はがき5枚セット 500円

1,100円

通信販売も行っております
お問い合わせは 遅筆堂文庫 まで。
(送料・振込手数料はお客様負担となります)
ご注文は電話・FAX・メールで受け付けております
電話: 0238-46-3311 FAX: 0238-46-3313
Email: chihitsudo@kawanishi-fplaza.com

※価格は全て税込です

井上ひさし 没後十年

CONTENTS

吉里吉里忌2020

講演「井上芝居の魅力」

講演「井上ひさしさんと私」

遼筆堂文庫2020年度企画展

旅はここから始まった——創作元年／ふるさとは本の海

遼筆堂文庫2020年度企画展

本の海は果てしなく広くて深い

イベント紹介

文学サロン 太宰治は「人間合格」なのか
失格なのか —観劇前の井戸端会議—

川西中学校 「井上ひさし先生」コーナーを
リニューアル

井上ひさし作詞の校歌

仙台文学館／世田谷文学館／市川市文学ミュージアム／吉野作造記念館

井上ひさし この一年

井上ひさし展 図録紹介

川西町立第一中学校／川西町立第二中学校／北京日本人学校／釜石小学校

学芸員ノート

井上ひさし 作品を読む

井上ひさし展二〇二〇スタンプラリー 結果報告

表紙の写真

文庫のおしごと／遼筆堂文庫利用案内

遼筆堂文庫グッズ紹介

吉里吉里忌 2020 二〇二〇年十一月十五日(日)

講演

「井上芝居の魅力」

講師：鶴山仁（演出家）

聞き手：山口宏子（朝日新聞記者）



第一部では、井上戯曲の演出を数多く手がけてきた鶴山仁さんに井上芝居の持つ力や、芝居作りの舞台裏について語っていただいた。

井上芝居との出会いは、大学生の頃に観たテアトル・エコーの「それからのブンとフン」や「珍訝聖書」。『珍訝聖書』の劇中劇の中に更に劇を入れ込む独特な構成に衝撃を受けたという。

第一部では、井上戯曲の演出を数多く手がけてきた鶴山仁さんに井上芝居の持つ力や、芝居作りの舞台裏について語っていただいた。

井上芝居との出会いは、大学生の頃に観たテアトル・エコーの「それからのブンとフン」や「珍訝聖書」。『珍訝聖書』の劇中劇の中に更に劇を入れ込む独特な構成に衝撃を受けたという。

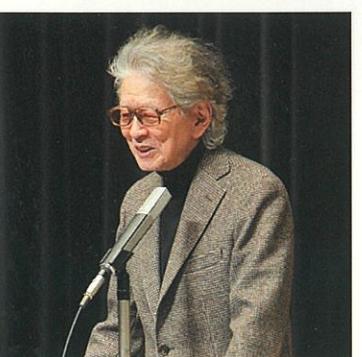
第一部では、井上戯曲の演出を数多く手がけてきた鶴山仁さんに井上芝居の持つ力や、芝居作りの舞台裏について語っていただいた。

井上芝居との出会いは、大学生の頃に観たテアトル・エコーの「それからのブンとフン」や「珍訝聖書」。『珍訝聖書』の劇中劇の中に更に劇を入れ込む独特な構成に衝撃を受けた。

講師紹介

鶴山仁（うやま・ひとし）

1953年、奈良県生まれ。慶應義塾大学フランス文学科卒業。舞台芸術学院をへて文学座附属研究所入所。82年に座員となり「プラハ 1975」等を手掛け。89年、「雪やこんこん」他で芸術選奨文部大臣新人賞、2004年、10年、16年に読売演劇大賞・最優秀演出家賞。2010年には第60回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。近年の舞台に「化粧二題」「太陽の子」「Good People」「日の浦姫物語」等。



講師紹介

五木寛之（いつき・ひろゆき）

1932年、福岡県生まれ。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年、「さらばモスクワ愚連隊」で小説現代新人賞、「蒼ざめた馬を見よ」で第56回直木賞、「青春の門」で吉川英治文学賞。2002年度第50回菊池寛賞、2010年、NHK放送文化賞、第六四回毎日出版文化賞特別賞を受賞。小説以外にも幅広い批評活動を続ける。代表作に「風に吹かれて」「朱鷺の墓」「戒厳令の夜」「蓮如」「風の王国」「大河の一滴」「TARIKI」「親鸞」(全6巻)等がある。

第二部では、昭和七年生まれの作家・五木寛之さんが、昭和九年生まれの井上ひさしとの長きにわたる交流について語った。

同世代の作家である五木さん、野坂昭如さん、そして井上ひさしの三人には、若い頃、芸能（テレビ、芝居等）の世界に身を置いていたという共通点がある。そのためか、私的な会話は殆どなかつたにもかかわらず、同志だという感覚があつたといふ。

井上ひさしとの主な交流の場は文学賞の選考会であった。直木賞の選考委員としての井上ひさしの手腕を「手品のように理路整然と作品を分析していた」と振り返った。

『吉里吉里人』については、時間がたつほど評価の高まる作品であり、古事記や源氏物語、あるいは世界各国の古典にも匹敵する作品であると評価した。

また、「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく」という井上ひさしの言葉について、「法然、親鸞、蓮如と続く仏教の思想の流れを一言で表している」との見解を示した。



2020年に出版された井上ひさし著作（詳細は9P参照）



遼筆堂文庫 井上ひさし展示室



世界中が新型コロナウイルス感染症に翻弄された二〇二〇年、井上ひさし没後十年を迎えた年でもありました。新聞や雑誌では井上ひさし特集が組まれ、またこれまで未収録だったエッセイなどが編纂・出版されました。さらに東北三館・関東三館の文学館では企画展、特別展が開催され、今まで以上にいろいろな角度から井上ひさしを発見することができました。

でもありました。新聞や雑誌では井上ひさし特集が組まれ、またこれまで未収録だったエッセイなどが編纂・出版されました。さらに東北三館・関東三館の文学館では企画展、特別展が開催され、今まで以上にいろいろな角度から井上ひさしを発見することができました。

でもありました。新聞や雑誌では井上ひさし特集が組まれ、またこれまで未収録だったエッセイなどが編纂・出版されました。さらに東北三館・関東三館の文学館では企画展、特別展が開催され、今まで以上にいろいろな角度から井上ひさしを発見することができました。

二〇二〇年度 企画展

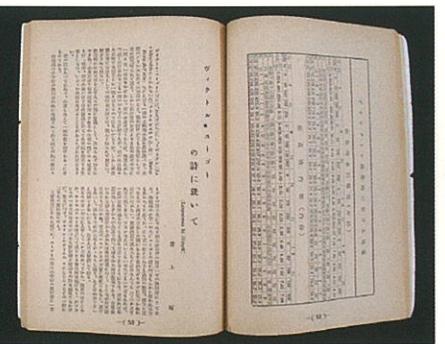
遅筆堂文庫が所蔵する二十二万冊を超える井上蔵書はまさに「本の海」。今年度の企画展示では、井上のこの海の航跡とその途上で築き上げられた数々の作品を、三期にわたって紹介した。

「井上廈」から「井上ひさし」へ

井上ひさしとして世に出る前の作品を紹介。中学校時代の詩、高校時代の小論文など、のちに作家となる萌芽が感じられる作品である。

高校時代に生徒会誌「創造」に投稿した詩論は、ヴィクトル・ユゴーを小説家というより詩人として注目していること。「小説は残念ながら一流的の下の方、詩は文句なしに一流」と言いつているところは、高校生らしくもあり鋭い指摘とも取れる面白い小論文である。

創作ノートは「ひよつこりひょうたん島」を書き始めた一九六四（昭和三九）年ころのもの。手に入るあらゆるモノからネタになりそうなものを探っている。少女雑誌「マーガレット」の切抜きやテレビ放送されたアメリカのコメディ「ダニー・ケイ・ショーン」の内容など詳細に記録している。作家としての旅の始まりを感じさせる資料である。



仙台一高生徒会誌（掲載ページ）

仙台一高生徒会誌（表紙）

神田から本が消える？

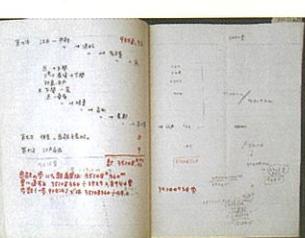
井上は熱筆のテーマが決まるとき、その分野の資料を徹底して集めたことはつとに有名だ。神田古書店街からそのテーマの類の本が消え、「井上さんは、どうも今回は○○について書くらしい」と噂まで立ったという。それの中から今回は、小説『不忠臣蔵』・芝居『イヌの仇討』の忠臣蔵資料、小説『腹鼓記』の狸と狐の資料、小説『四千万歩の男』の伊能忠敬資料を展示了した。また『四千万歩の男』の創作ノートは、伊能忠敬が歩いた歩数を「四千万歩」とするまでの過程がわかるノートを紹介した。

に同郷の作家藤沢周平の作品を読んで、舞台となつた架空の土地・海坂藩を地図に落とし込んだ「海坂藩城下図」原本を久方ぶりに展示し、藤沢ファンにも楽しんでいただいた。

企画展 II

ふるさとは本の海

会期：2020年8月4日（火）～11月3日（火）



『四千万歩の男』創作ノート

井上ひさしが計算した伊能忠敬の歩幅（約90cm）

井上ひさしの

社会的発言

井上は、創作だけでなく、社会問題に対する発言も積極的に行つた作家であった。井上の提唱で一九八八（昭和六十三）年から始まり、現在も続く「遅筆堂文庫生活者大学校」は、農業や環境憲法等について、多彩な講師を招き、参加者と共に考える講座となつた。

農業は自然を相手にするものであり、工業とは本質的に異なることを主張し続けた。憲法九条を守るために、武力に頼らない平和実現のための具体的な方法を模索し、提案した。『吉里吉里人』で吉里吉里国が示した「医療立国」という方針も、その具体例の一つである。

ある。

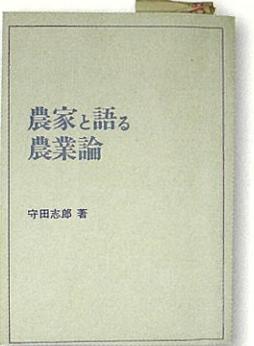
残された数々の発言や、その裏側が垣間見える資料、調査のために使用した書籍や雑誌から、井上が追い求めた「この国のかたち」が浮かび上がる。



経済誌は、社会問題を捉える重要なツールの一つであった。



『農家と語る農業論』（守田志郎著、農山漁村文化協会刊）全編にわたりて葉が挟み込まれているのが確認できる。



守田志郎著

今年度はこんなことがありました!!

止

最初に、井上ひさしの講演「名優 太宰治」のCDを聴講。その後、参加者から講演の感想や太宰に対する印象などを伺いました。

今回、助言者として参加された馬場重行先生（井上ひさし研究会副会長）からは、「太宰治の作品でお勧めしたいのが『御伽草子』。井上さんが指摘する語りの面白さ、オチの面白さが味わえる。井上さん自身についてもそうだが、太宰治についても、父親との関係から考えることは重要である」とコメントをいただきました。



文学サロン

太宰治は「人間合格」なのか失格なのか

（観劇前の井戸端会議）

川西中学校からの依頼を受け、二階にある掲示スペースの展示替えを行いました。今回は、「井上ひさしのコメ講座」や「井上ひさしの子どもについての日本国憲法」等、社会問題に関する著作を紹介。今までの展示と同様に、表紙をめくるとその本の概要が読める仕掛けになっています。井上ひさしの創作以外の側面にも触れてほしいと思い制作しました。川西中学校にお越しの際はぜひご覧ください。

「井上ひさし先生」コーナーをリニューアル



「佳作？入選？第一席？」



遅筆堂文庫 学芸員 遠藤 敦子

ハテ？両井上家のご家族は、父が、夫が入選で、相手の井上さんは佳作だったと仰っている。これは当時の「サンデー毎日」に当たるしかない。当時の「サンデー毎日」を持っていらっしゃるのは、中央印刷（山形市）の社長後藤卓也さんである。井上修吉の作品「H丸伝奇」を復刻出版した方だ。後藤さんは即答「一人とも入選ですよ、ちなみには佳作には源氏鶏太さんがいます」とのこと。大衆文芸賞発表の「サンデー毎日昭和一〇年一〇月六日号一二ページには入選五編として次の順で掲載されている。

H丸傳奇 小松滋（井上修吉）

端 蟄 岩田常徳

紅莊の魔魔たち 井上靖

鳴門崩れ 池辺たかね

聖ガオルギー勲章 高園寺文雄

（他、源氏鶏太を含む佳作者一五名が掲載されている）

二〇二〇年は年明けから、世界中が新型コロナウイルスに振り回された。そして一年が過ぎた今も状況はあまり変わっていない。二〇二〇年は井上ひさし没後一〇年の年でもあり、井上が居住した土地の文学館六館では没後一〇年の企画展が開催された。各館を巡るスタンプラリーも同時に開催され、一年かけて巡られた方は、ある意味命がけだったのではないだろうか。

そんな二〇二〇年の晩秋、ジャケットをきつちりと着こなした紳士が図書館のカウンターに現れた。「井上靖の息子です」。最初に対応した若い司書にはあまり馴染みのない作家らしく驚いた様子はなかったが、伝言された私は仰天した。作家井上靖といえど昭和時代の小学校の国語の教科書には必ず載っていた「しろばんば」の作者で、昭和の人なら知らない人はいない。「冰壁」「敦煌」「孔子」など名立たる作品の数々、まさに文豪である。井上ひさしも若いころに出版社が企画した文化講演会へ井上靖と一緒に出かけたこともあった。私は思いがけない来訪者にやや緊張しながら挨拶をし、館内を案内して回った。終盤に差し掛かった頃「井上ひさしのお父さんも作家を目指しておられましたよね 私の父が『サンデー毎日』に入選したときは、ひささんのお父さんは佳作でしたね。」えつと思つた。『違う井上修吉（ひさしの父）も入選だ。しかも井上靖氏よりは上だつたはず。』だがその言葉はご子息を前に呑み込んだ。

「開館20周年記念特別展
井上ひさしの劇列車」

発行：仙台文学館
発行年月：2019年4月
価格：1,100円（税込）



井上ひさし展 図録紹介

没後十年スタンプラリーでもご協力いただいた、井上ひさしゆかりの地にある文学館・記念館で制作された企画展の図録をご紹介します。
(在庫の有無及び購入方法については各館にお問い合わせください)

「没後10年 井上ひさし展
—希望へ橋渡しする人—」

発行：世田谷文学館
発行年月：2020年10月
価格：1,400円（税込）

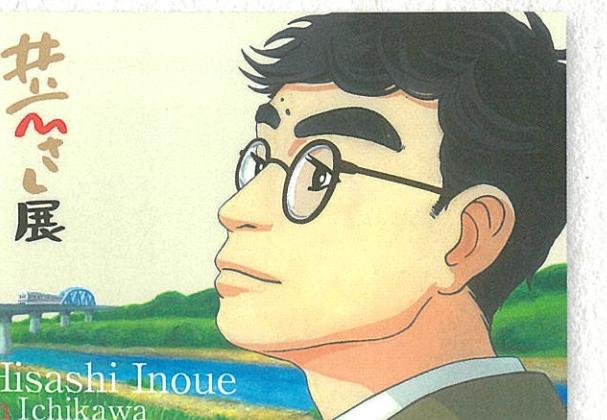
お問い合わせ先
電話：03-5374-9111
FAX：03-5374-9120
HP：https://www.setabun.or.jp

井上ひさし展

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

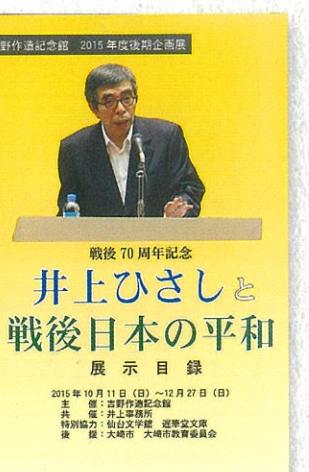
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

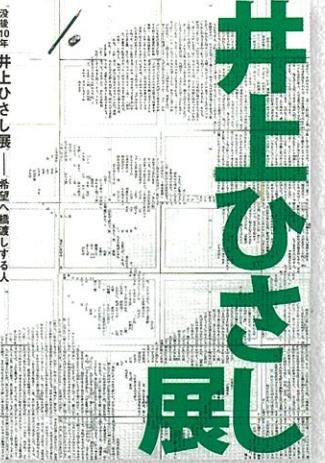
「井上ひさしと
戦後日本の平和」

発行：吉野作造記念館
発行年月：2015年10月
※販売は行っておりません。閲覧希望の方は以下の
お問い合わせ先まで。

お問い合わせ先
電話：0229-23-7100
FAX：0229-23-4979
Email：yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
HP：https://www.yoshinosakuzou.info/



「サンデー毎日」
昭和10年10月13日号表紙
毎日新聞出版
写真提供：後藤卓也氏

「開館20周年記念特別展
井上ひさしの劇列車」

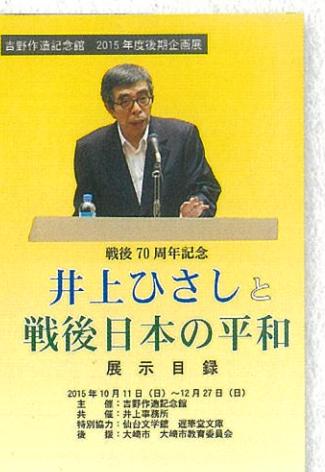
発行：仙台文学館
発行年月：2019年4月
価格：1,100円（税込）

お問い合わせ先
電話：022-271-3020
FAX：022-271-3044
HP：https://www.sendai-lit.jp/
Email：bungakukan@sendai-lit.jp

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

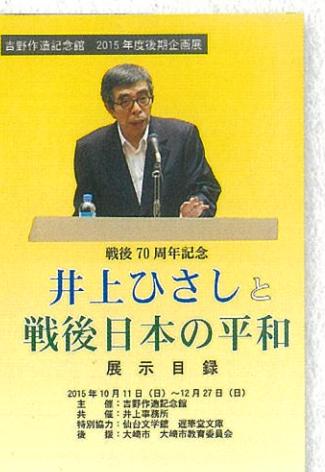
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

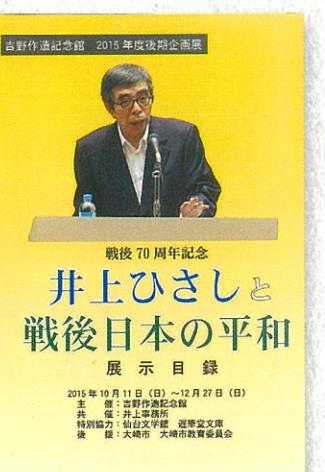
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

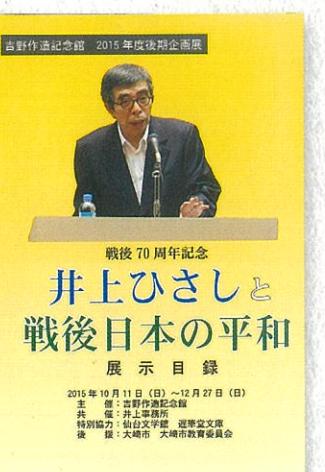
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

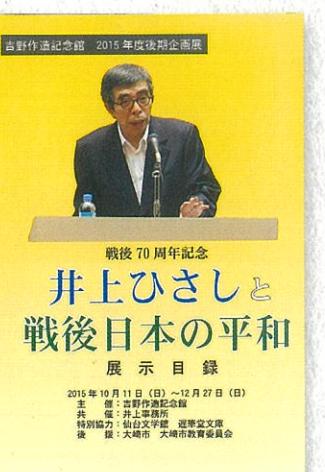
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

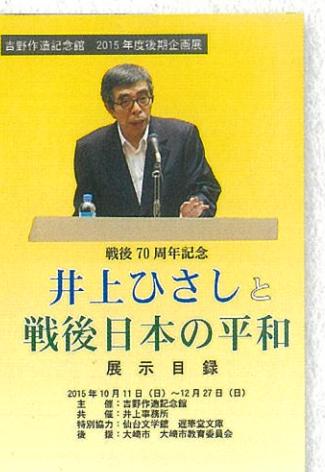
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

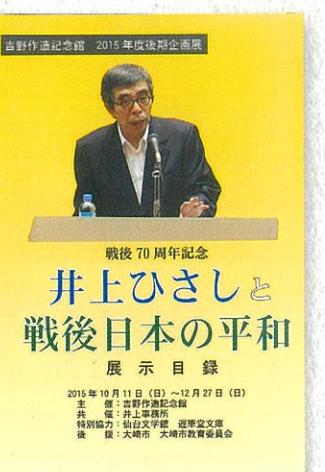
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

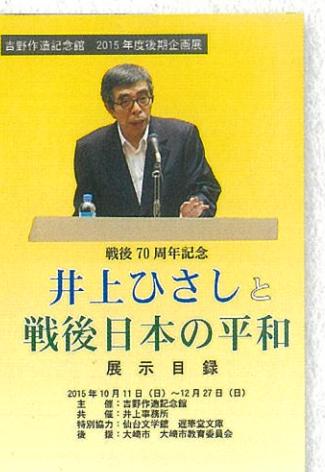
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

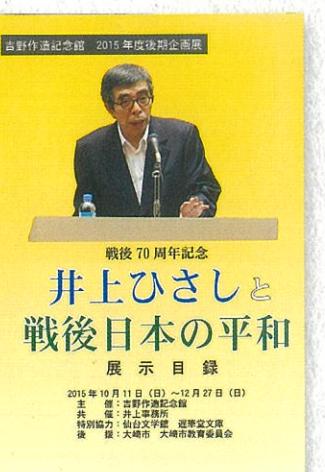
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

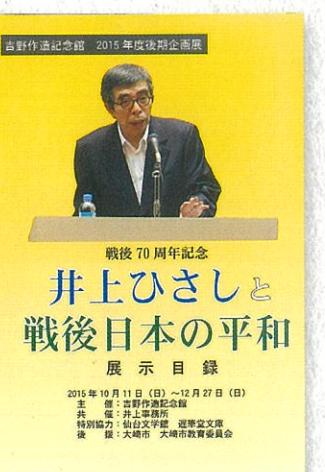
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

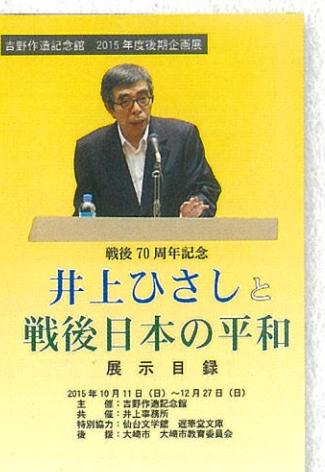
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

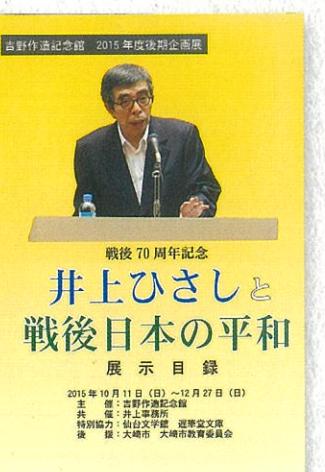
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

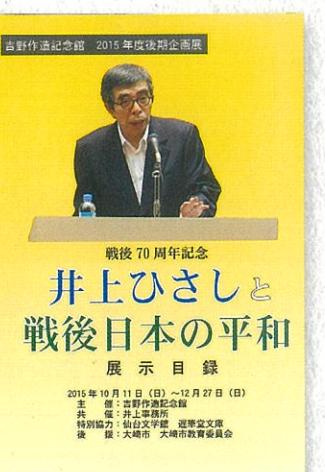
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

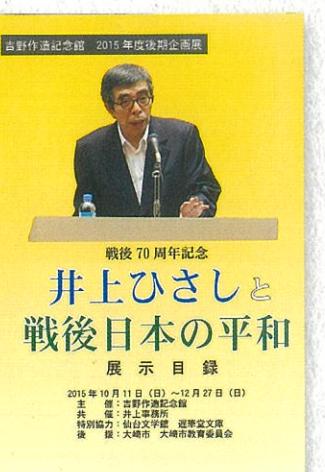
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

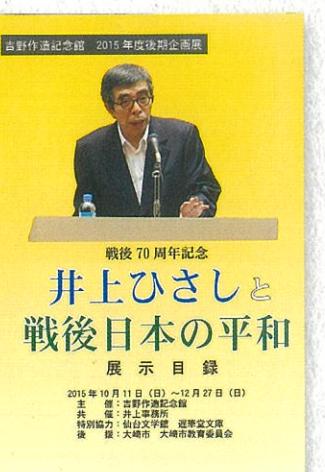
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

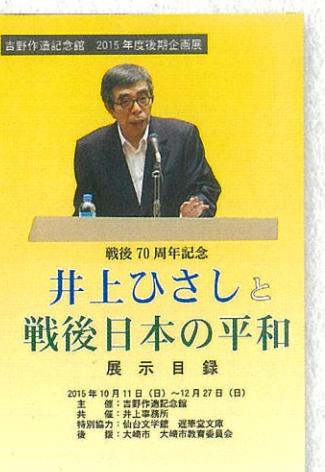
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

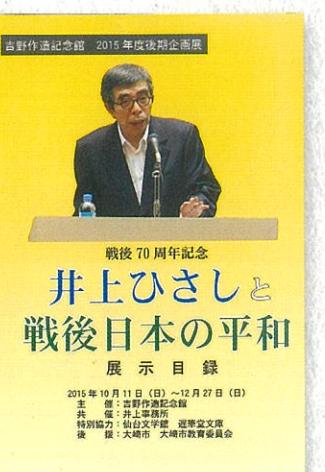
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

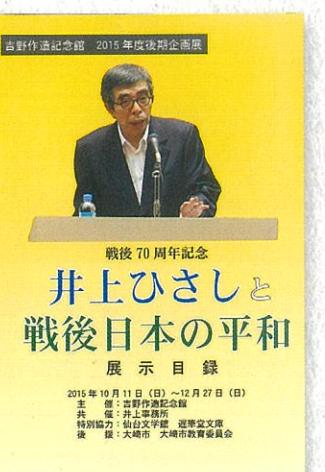
発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

「井上ひさし展
とにかく書くのが楽しかった」

発行：市川市文学ミュージアム
発行年月：2020年7月
価格：500円（税込）

お問い合わせ先
電話：047-320-3334
FAX：047-320-3356
HP：https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html



井上ひさし この一年

出版物

- ◆ 3月 『完本 小林一茶』 中公文庫
- ◆ 4月 『秘本 大岡政談 井上ひさし傑作時代短篇コレクション』 ちくま文庫
『社会とことば』(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション第一巻) 岩波書店
- ◆ 5月 『芝居とその周辺』(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション第二巻) 岩波書店
『町報かわにし』5月号(特集 井上ひさしを語り継ぐ)
- ◆ 7月 『東京セブンローズ』(上巻) 小学館P+D BOOKS(紙と電子書籍での同時発売)
『小説をめぐって』(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション第三巻) 岩波書店
『四捨五入殺人事件』 中公文庫
- ◆ 8月 『東京セブンローズ』(下巻) 小学館P+D BOOKS
- ◆ 9月 『ひと・ヒト・人 -井上ひさしベストエッセイ・続-』 井上ユリ編 ちくま文庫
『犯罪調書』 中公文庫
- ◆ 10月 『野球盲導犬チビの告白』 実業之日本社文庫
- ◆ 11月 雑誌『東京人』11月号<井上ひさし特集号「井上ひさしの創造世界(ユートピア)」> 都市出版社
『井上ひさしの日本語相談』 朝日文芸文庫



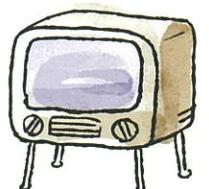
主な戯曲上演

- 「イヌの仇討」「きらめく星座」「人間合格」「私はだれでしょう」(こまつ座)
- 「水の手紙」(川西町フレンドリープラザ付属演劇学校 朗読俱楽部「星座」)
- 「組曲虐殺」(こまつ座・ホリプロ)
- 「天保十二年のシェイクスピア」(東宝)
- 「うかうか三十、ちょろちょろ四十」(人形劇団ブーク)
- 「ある八重子物語」(劇団民藝・こまつ座) 他、上演多数



放送(テレビ・ラジオ等)

- チャンネル銀河「四捨五入殺人事件」(テレビドラマ 全5話) 2020.3.30~
- NHK「あの人人に会いたい」(再放送)
- NHK ハイビジョンスペシャル「井上ひさしのボローニャ日記」(再放送) BSプレミアム
- WOWOW「劇場の灯を消すな!」



*新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、公演の延期・中止が続いた劇場とWOWOWによって作られたオリジナル番組シリーズの共通演目として「十二人の手紙」より四話を朗読。
「泥と雪」シアターコクーン編／演出：松尾スズキ 出演：大竹しのぶ・中村勘九郎
「鍵」サンシャイン劇場編／演出：いのうえひでのり 出演：高田聖子・入江雅人
「ベンフラン」本多劇場編／演出：宮藤官九郎 出演：小泉今日子・皆川猿時
「葬送歌」PARCO劇場編／演出：三谷幸喜 出演：天海祐希・中井貴一



井上ひさし発掘エッセイ・セレクション第3巻『小説をめぐって』(岩波書店刊)に掲載されたエッセイでその裏側が語られている、井上ひさし作詞の校歌4曲をすべて掲載。小説や戯曲とはまた異なる、凝縮されたことばの世界が紡ぎ出されています。

JASRAC 出 2100753-101

川西町立第一中学校校歌

井上ひさし 作詞
宇野誠一郎 作曲

空にひらけゆく 我が学び舎に
雲なき大空 今日も果てなし
励めや一中 ただひたすらに
光あまねく 身にあびて
めあては一つ 人らしき人
空よりも ここるの広きを
めざして

一
花にひらけゆく 我が学び舎に
名もなき花々 今日もうるわし
習えや一中 ここる素直に
誇りけだく 養いて
めあては一つ 人らしき人
花よりも ここるの清きを
めざして

二
花にひらけゆく 我が学び舎に
天をゆるがし 大地をやぶる
ひたすら ひとすじ ひたむきに
よく耐え よく立ち よく忍べ
よき力みな ここに生まれる
川西二中に 力あり



この天つちに 溢れることは
よき人びとの 遺せしことば
ひたすら ひとすじ ひたむきに
よく聞き よく読み よく学べ
よきことばみな ここに集まる
川西二中に ことばがあり

川西町立第二中学校校歌

井上ひさし 作詞
宇野誠一郎 作曲

ぼくらは火花 ちいさな火花
長城のはじまりも ちいさな石ひとつ
長江のはじまりも ちいさな水たまり
だから 燃やしつづけよう
火花はやがて 広野を焼きつくす
北京日本人学校 ちいさな火花は集う

一
遠き野をこえ せまれるあらし
天をゆるがし 大地をやぶる
ひたすら ひとすじ ひたむきに
よく耐え よく立ち よく忍べ
よき力みな ここに生まれる
川西二中に 力あり



ぼくらは火花 ちいさな火花
長城のはじまりも ちいさな石ひとつ
長江のはじまりも ちいさな水たまり
だから 燃やしつづけよう
火花はやがて 広野を焼きつくす
北京日本人学校 ちいさな火花は集う

小さな火花

井上ひさし 作詞
團 伊玖磨 作曲

ほくらは火花 ちいさな火花
長城のはじまりも ちいさな石ひとつ
長江のはじまりも ちいさな水たまり
だから 燃やしつづけよう
火花はやがて 広野を焼きつくす
北京日本人学校 ちいさな火花は集う

一
みんなが光 ちいさな光
朝空のかがやきも 一本の日の矢から
星空のかがやきも 一片の小星から
だからともしつづけよう
光はやがて 世界にあふれだす
北京日本人学校 ちいさな光は陸む



ほくらは火花 ちいさな火花
長城のはじまりも ちいさな石ひとつ
長江のはじまりも ちいさな水たまり
だから 燃やしつづけよう
火花はやがて 広野を焼きつくす
北京日本人学校 ちいさな火花は集う

釜石小学校校歌

井上ひさし 作詞
宇野誠一郎 作曲

いきいき生きる いきいき生きる
ひとりで立つて まつすぐ生きる
困ったときは 目をあげて
星をあてて まつすぐ生きる
息あるうちには いきいき生きる

一
はつきり話す はつきり話す
びくびくせずに はつきり話す
困ったときは あわてずに
人間にについて よく考える
考えたなら はつきり話す
三
しっかりつかむ しっかりつかむ
まことの知恵を しっかりつかむ
困ったときは 手を出して
ともだちの手を しっかりつかむ
手と手をつけないで しっかり生きる



いきいき生きる いきいき生きる
ひとりで立つて まつすぐ生きる
困ったときは 目をあげて
星をあてて まつすぐ生きる
息あるうちには いきいき生きる

山形県内図書館一斉展 「井上ひさし作品を読む」

没後十年企画として、川西町立図書館・遅筆堂文庫の呼びかけで、県内の図書館で一斉に井上ひさし著作本を展示していただきました。当初は、亡くなつた月である四月に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、四月は県内ほぼ全館が休館となつてしまい、多くの館で期間を変更して開催していただきました。

「懐かしい」と借りていかれる方だけでなく、「初めて読みます!」という声も聞かれたとのことです。



写真提供：
大石田町立図書館



写真提供：
西川町立図書館

井上ひさし展二〇一〇 スタンプラリー結果報告

羽前小松駅から見た フレンドリープラザ

井上ひさし展二〇一〇 スタンプラリー結果報告

羽前小松駅から見た フレンドリープラザ

川西町フレンドリープラザの最寄り駅、JR米坂線羽前小松駅から徒歩でお越しの際は、東口（駅舎と反対側）米沢からお越しの場合は駅構内の歩道橋を渡ります）へお進みください。入口は東側（写真右方向）にあります。

冬場は雪の多い地域です。足元が不安な方は、西口（駅舎側）からタクシーに乗ることもできます。

川西観光タクシー ○三三八一四二一一五五五
みどりタクシー ○三三八一四二一一三三四
大京タクシー ○三三八一四二一一三〇四一



《編集後記》

コロナ禍の影響で、昨年はほとんど帰省ができませんでした。地元の歴史博物館では、ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせて「大河ドラマ館」をオープンしていましたが、結局一度も行くことができませんでした。その分、県内を巡り、道路や地理、温泉については、もはや岐阜県よりも詳しくなつてしまいました。

順調に山形県民になりました。



(撮影：林 俊宏)

林 俊宏の文庫のおしごと

～地域おこし協力隊、遅筆堂文庫研究員としての活動紹介～



雑誌資料の整理

「川西町交流館あいばる」内にある遅筆堂文庫分室には、現在、雑誌資料が約八万五千点保管されており、現在も増え続けています。かつては中学校であったこの施設、エレベーターは設置されておらず、搬入の際には、二階にある分室まで人力で本を上げなければなりません。

今まで取り組んできた、雑誌を種類別に仕分ける作業が一段落し、どんな分野の雑誌がどれほど所蔵されているかと、いうことが少しずつ分かつてきました。

週刊誌は量も種類も豊富、文芸誌は「すばる」や「オーラ讀物」のようなメジャーナらのものだけでなく、「〇〇(地名)文学」といった地方ものや同人誌も多い。次いで多いのがスポーツ誌と経済誌、「婦人公論」や「家庭画報」以外は冊数が少ないが、意外にも種類が多いのが婦人雑誌……という具合である。

現在は、発行年月順に仕分ける作業と、分類別の配置作業を並行して行っている。分類を考える際に参考になったという点がその理由である。

「一般週刊誌」「経済」「生活情報」「広告」等々、約五十種類ある件名をもとに、量が少ないものは統合し、多いものは細分化した。結果、分類は三十種類ほどにまとまつた。分類作業によって、雑誌群全体の特徴が見えるようになり、部屋ごとの配置計画を決めることができた。司書講習で教わった「分けることは分かること」という格言を思い出す。

今後は、新聞や古書目録の整理もしていく予定である。

遅筆堂文庫での本の修繕

一般的に、図書館の本は耐久性を上げるために、表紙に透明なフィルムを貼って保護されている。しかし遅筆堂文庫では井上ひささんの「本は生まれたままの姿で」という考え方に基づき、フィルムで保護するのではなく、管理用バーコードの周辺のみとしている。文庫では一部貸出も行っているが、利用の多い小説等は特に傷みやすくなっている。フィルムや修繕用テープを使って修理する図書館も多いが、文庫で使用するのは糊と和紙。カバーが欠損しているもの、ページが取れているもの、背が割れているもの等々、本の傷み方は一冊ごとに異なる。それぞれの本の状態に合わせて、和紙を選び、裏打ちを行う。

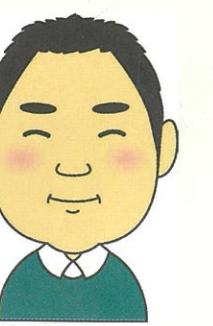
最も苦労したのは、劣化した付箋の復元作業であった。書かれた文字をヒントに、バラバラになつた付箋をパズルのように並べる。付箋はそれぞれサイズが異なるので一本ずつ採寸して和紙を切り出し、慎重に糊付けをしていく。手間と時間がかかる上に神経を使う作業であった。

《遅筆堂文庫利用案内》

《著者・編集者プロフィール》

林俊宏（はやし・としひろ）

一九八八年岐阜県生まれ。映画館等での勤務の後、二〇一五年より青年海外協力隊としてアフリカのガーナ共和国に派遣される。職業訓練校の生徒を対象にパソコンの使い方を教える。二〇一九年四月より川西町地域おこし協力隊・遅筆堂文庫研究員として活動。



【開館時間】

○火～土曜日

午前九時三十分～午後七時

※冬期間（十二月～三月）

午前九時三十分～午後六時

○日曜日・祝祭日

午前九時三十分～午後五時

【休館日】

月曜日※月曜日が祝日の場合は開館祝日の翌日・年末年始・蔵書点検期間

〒九九九一〇一二

山形県東置賜郡川西町大字上小松一〇三七番地一

TEL／〇一三三八一四六一三三一
FAX／〇一三三八一四六一三三一
メール／info@kawanishi-plaza.com

ある。



川西町交流館あいばる
2階に遅筆堂文庫分室がある。

